

公開シンポジウム

天壤無窮

見つめる先に

プログラム

(敬称略)

第1日目 平成23年12月15日(木)	
09:30~09:35	開会挨拶
09:35~10:35	基調報告 簡井哲夫 研究総括(九州大学名誉教授) 5年半の「さきがけ」で生み出されたもの、そして次なる飛躍への期待
セッション1 10:35~11:05	さきがけからの飛躍1 CREST, 再度さきがけへ 座長: 生駒忠昭(新潟大学) 山田容子 (奈良先端科学技術大学院大学) 「革新的塗布型材料による有機薄膜太陽電池の構築」をめざして
11:05~11:35	矢見史樹 (千葉大学) 機能性色素モジュールからエキソチック色素材料へ
11:35~12:05	岡本晃一 (九州大学) さきがけから再びさきがけ、繋いだ未来への可能性「プラスモニクスが拓く明るい未来」
12:05~13:00	昼休み
13:00~14:30	ポスターセッション 研究者全員
14:30~15:00	アドバイザー講演 玉田 薫 領域アドバイザー(九州大学教授) 座長: 増尾貞弘(関西学院大学) プラズモニク結晶ナノアンテナ構造による革新的なバイオ計測
15:00~15:15	休憩
セッション2 15:15~15:45	第3期生の研究報告 座長: 藤原英樹(北海道大学) 池沢道男 (筑波大学) 単一不純物を利用した光機能性半導体量子素子の創出
15:45~16:15	中 暢子 (京都大学) 高純度ダイヤモンドの高分解分光と光機能の探索
16:15~16:45	道信剛志 (東京工業大学) クリック型反応による有機光電子機能材料の創製
16:45~17:15	宮島顕祐 (東京理科大学) 光を介した量子ドット集合系のコヒーレント相互作用の制御
17:15~17:45	楊 成 (大阪大学) キラル光化学の励起波長制御
第2日目 平成23年12月16日(金)	
09:00~10:00	特別講演 高原 淳 (九州大学教授) 座長: 立間 徹(東京大学) ソフトインターフェースの精密構造制御と新奇な物性
10:00~10:15	休憩
セッション3 10:15~10:45	さきがけからの飛躍2 最先端・次世代プログラムへ 座長: 藤田晃司(京都大学) 伊藤 肇 (北海道大学) 金錯体の発光性メカノクロミズム
10:45~11:15	関 修平 (大阪大学) 最も電荷輸送に適した共役骨格は何か?、どんな分子積層構造が電荷輸送に最適か?
11:15~11:45	竹延大志 (早稲田大学) レーザートランジスタへの挑戦
11:45~12:15	所 裕子 (東京大学) 光と相転移の相関による新しい光変換機構の探索
12:15~13:15	昼休み
13:15~14:15	特別講演 野田 進 (京都大学教授) 座長: 勝藤拓郎(早稲田大学) フォトニック結晶による光制御の現状と将来展望
セッション4 14:15~14:45	さきがけからの飛躍3 座長: 中山健一(山形大学) 伊都将司 (大阪大学) 単一ノ発光体をプローブとした局所物性評価
14:45~15:15	瀬高 涉 (徳島文理大学) ベンゼン環を回転子とする「分子ジャイロコマ」の創製と分子運動の機能利用
15:15~15:30	休憩
15:30~16:00	飯田琢也 (大阪府立大学) デザインされた光場によるナノ物質集団の協力現象制御と応用
16:00~16:30	後藤 敦 (物質・材料研究機構) 光ポンピング法を偏極源とした固体超偏極技術の開発
16:30~17:00	加藤雄一郎 (東京大学) 単層カーボンナノチューブで創る光量子デバイス
17:00~17:15	閉会挨拶



第5回領域会議にて撮影

日時 平成23年12月15日(木)~16日(金)
会場 **アキバホール** 富士ソフトアキバプラザ5F
東京都千代田区神田練堀町3(JR秋葉原駅 徒歩3分)
参加費 **無料**



独立行政法人 科学技術振興機構

お問い合わせは領域事務所へ 物質と光作用: 092-588-0311
専用ホームページ <http://www.photon.jst.go.jp/3-symp/>